

全国地域作業療法研究大会 第24回学術集会 in 長崎 開催報告書

開催期日：平成31年2月23日（土）～24日（日）

開催場所：島原復興アリーナ（長崎県島原市）

開催テーマ：生活の自律、活性と生活支援を再考する

大会長：長尾 哲男

参加者：会員20名 非会員28名 学生1名 市民15名

雲仙岳がきれいに輝くような晴天に恵まれた2日間でした。教育講演では学校法人敬心学園の小林毅先生が多忙の中講演していただきました。福祉用具のスペシャリスト、だからこそその考え方は新鮮でありました。演題発表では思うように確保できず例年になく少ない3例の発表でした。地域実践報告では哲翁病院での地域ボランティアグループとの共同活動において県内最大の高齢化率を誇る地域にOTが関わる意義と貢献などを考えさせられ、ローポップネットワークの森内氏には障害を持った方々からのものすごいパワーをいただき、驚きが強かったです。吉田隆幸記念講演では西九州大学の小松洋平先生に講演いただき、精神分野での地域活動、地域包括ケアシステムの活用等、実際に活動を継続しているからこそその意見や悩み、歓喜などこれまで学術集会に少なかった精神分野の活動を聞けるのは引き込まれました。大会長講演と公開講座では震災から学ぶ生活の自律、活性と生活支援と題し、平成2年雲仙普賢岳災害時の支援者立場での動きや支援される立場での感情、平成28年熊本地震での動きなど想像もつかない現場での経験や考えなど年数が経てば少しずつ様変わりしながらも被災地に赴く先輩OTの経験談は内容が濃く考えさせられることが多くありました。

我々の広報不足や努力不足にて会場がいっぱいになる参加者とはなりませんでした。出会いと学びを得ることが出来た学会になったと思っています。ご参加、ご協力いただいた全ての方々へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

